情報公開文書

腹腔洗浄細胞診陽性膵癌の長期予後因子の検討
富山大学附属病院
【研究対象者】 2007年1月から2025年11月に富山大学附属病院にて膵癌と診断された症例
【研究の目的・意義】 本研究によって腹腔洗浄細胞診陽性膵癌の長期予後に関連する因子が探索されることで、より安全な標準治療の確立と普及につながることが期待される。
【研究の方法】 2007年1月から2019年11月に富山大学附属病院にて膵癌と診断された症例 を対象とし、臨床病理学的データを電子カルテより収集し、腹腔洗浄細胞診 陽性膵癌の長期予後に関連する化学療法、手術手技および臨床病理学的因子 を探索する。
【研究期間】 2019年11月28日 ~ 2029年03月31日 【利益相反の状況】 なし 【研究結果の公表の方法】 関連全国学会での発表
自施設での匿名化データ(術後短期合併症および予後を含む)を用いた後ろ 向きの観察研究
富山大学付属病院 病院長 山本 善裕
研究対象者等(研究対象者および親族等関係者)のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
富山大学 消化器腫瘍総合外科 教授 藤井 努
研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7329 FAX 076-434-7331 E-mail shibuyak@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 渋谷 和人